

|     |                 |      |       |      |     |
|-----|-----------------|------|-------|------|-----|
| 科目  | 法学              | 担当   | 栗原 潤也 | 履修学年 | 2年  |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 選択    | 単位数  | 2単位 |

**【授業目標・到達目標】**

基礎法学を学ぶとともに、社会生活において身近な法律の基礎を学ぶ。さまざまな法律について馴染みをもってもらえるよう努力し、授業をすべて履修した結果、法学について基本的理解を得ることを目標とする。

**【履修注意】**

- 1 毎回、出席をとる(出席点あり)。
- 2 適宜、小テスト(10分程度で解答できるもの)をする。
- 3 私語等、他の履修者に対する妨害となる行為をした場合には厳正に対処する。

**【評価方法】**

- ・定期試験、適宜求める小テスト及び出席点によって評価する。
- ・欠席が5回以上の場合には定期試験を受験することはできない。

**【試験について】**

- ・筆記式試験であり、詳細は講義中に言及する。
- 再試験対象者の条件： 再試験は行わない。

**【予習・復習】**

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

**【教科書】**

購入教科書なし。法律の条文を確認する必要があるので、PCを持参してください。

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

| 回数 | 項目       | 内容                         |
|----|----------|----------------------------|
| 1  | ガイダンス    | 講義の進め方                     |
| 2  | 基礎法学     | 基礎法学の入門 具体例を用いて解説をする。      |
| 3  | 憲法 1     | 憲法の入門 具体例を用いて解説をする。        |
| 4  | 憲法 2     | 憲法の入門 具体例を用いて解説をする。        |
| 5  | 刑法       | 刑法の入門 具体例を用いて解説をする。        |
| 6  | 刑法・刑事訴訟法 | 刑法・刑事訴訟法の入門 具体例を用いて解説をする。  |
| 7  | 民法 1     | 民法総則の入門 具体例を用いて解説をする。      |
| 8  | 民法 2     | 民法物権の入門 具体例を用いて解説をする。      |
| 9  | 民法 3     | 債権総論、不法行為の入門 具体例を用いて解説をする。 |
| 10 | 民法・民事訴訟法 | 民事訴訟法に関する入門的な解説をする。        |
| 11 | 家族法 1    | 親子関係の入門 具体例を用いて解説をする。      |
| 12 | 家族法 2    | 親族の入門 具体例を用いて解説をする。        |
| 13 | 家族法 3    | 相続の入門 具体例を用いて解説をする。        |
| 14 | 知的財産権法   | 特許法、著作権法等の知的財産権の入門的な解説をする。 |
| 15 | 期末まとめ    | 14コマの復習講義                  |
| 16 | 期末試験     | 15コマの復習・確認・総まとめ            |